

【要点】③乗法・除法

(1) 正負の数の乗法（かけ算）・除法（わり算）…まずは符号を決める

<符号の決め方>

①2つの数の乗・除

$(+) \times (+)$	$\rightarrow +$
$(+) \times (-)$	$\rightarrow -$
$(-) \times (+)$	$\rightarrow -$
$(-) \times (-)$	$\rightarrow +$

[例] $(-4) \times (-2) = +(4 \times 2) = 8$
 $(-3) \times (+6) = -(3 \times 6) = -18$
 $(+8) \div (-2) = -(8 \div 2) = -4$

②3つ以上の数の乗・除

負の数(-)が偶数個	$\rightarrow +$
負の数(-)が奇数個	$\rightarrow -$

[例] $(-3) \times (-4) \times (-2) = -(3 \times 4 \times 2) = -24$
 $(-4) \times (-6) \times (-1) \times (-5) = +(4 \times 6 \times 1 \times 5) = 120$

(2) 除法を含む計算……まずは全体の符号を決め、除法は乗法に直してから計算。

[例] $(-2) \div (-6) = +(2^1 \times \frac{1}{6}_3) = \frac{1}{3}$

$(+4) \div (-\frac{2}{3}) = -(4^2 \times \frac{3}{2}_1) = -6$

$(-8) \div \frac{4}{5} \times (-\frac{3}{5}) = +(8^2 \times \frac{5^1}{4}_1 \times \frac{3}{5}_1) = 6$

(3) 累乗……同じ数をいくつかけたものを、その数の累乗といい、かけた数の個数は右かたに小さい数（指数という）をつけて表す。

重要

-3^2 と $(-3)^2$ との違いに注意！！

-3^2 は、3の右かたに指数の2がかかっているの、3を2回かけることになる

$\rightarrow -3^2 = -(3 \times 3) = -9$

$(-3)^2$ は、()の右かたに指数の2がかかっているの、()を2回かけることになる

$\rightarrow (-3)^2 = (-3) \times (-3) = +9$